



日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番

97.9.12 No. 4658

インディペンデンスの小樽寄港

有事への地ならし見え隠れ

- 米核空母がぞくぞく日本へ
- 「インディペンデンス」 ↓ 小樽へ
- 「ミシッ」 ↓ 佐世保へ
- 「コンステレーション」 ↓ 横須賀へ
- 「アラバハリンカーン」 ↓ 横須賀へ

新ガイドラインの最終合意を前に、米核空母がぞくぞくと日本におし寄せている。九月には三隻の米空母が集結し、さらに原子力空母アラバハリンカーンも九月中旬に横須賀に寄港するといわれている。これはかつてない異常な事態だ。実際に戦争を想定している以外考えられないことである。五日には小樽港にインディペンデンスが寄港したが、民間港への寄港は初めてのことだ。

小樽で米軍は、進入経路、灯台、係船所、燃料、修理施設、倉庫、港湾労働者、医療、食料、さらには遊興施設として小樽や札幌・ススキノのバーまで詳細に調査している。まさに「有事」＝戦争への地ならしだ。新ガイドラインの中間報告からわずか三カ月、「最終合意」も待たず、その本質があらわになっている。

米海兵隊の実弾演習

部隊を自衛隊が輸送!

九月十八日より、北海道・矢白別演習上で、米海兵隊による実弾演習が予定されている。この部隊は、航空自衛隊の輸送機によって沖縄から北海道に輸送された。これも戦後初めてのことで、まさに新ガイドラインの作戦協力そのものだ。

しかも、在沖海兵隊と防衛施設庁は、事前に釧路空港、中標津空港、花咲港、釧路港のほか、市立釧路総合病院、根室管内別海町の町立病院と診療所を調査している。とくに市立釧路総合病院では、診療科目や医療機器の内容、さらに万一の場合を想定してICU(集中治療室)まで調べている。

新ガイドラインは、日本全土を総出撃基地・総兵たん基地化し、社会の全ての機能が戦争に動員されるということだ。そのため、官民間問わずあらゆる部門の調査や訓練がすでに行なわれているのだ。

←タイに派兵された
自衛隊大型輸送機
C-130



「抵抗権奪う」と猛反発 自民沖縄県連も反対

沖縄の抵抗権奪う! (分権委勧告)

米軍用地の強制使用手続きをめぐる地方分権推進委員会の勧告がだされたが、その内容は基地の重圧にあえぐ沖縄の抵抗権を一切奪い取る内容だ。改悪された特別措置法をさらに進めて、県収容委員会の権限も知事の職務も全てはく奪して、国の意志ひとつで軍用地を強制使用し続けられるというのだ。マスコミも「国防の名の下に、住民の人権や自治の本旨が侵害されているのか」(朝日新聞)といわざるを得ないものだ。自民党沖縄県連すら「国がそこまでやってはいけない。最低限のカードまで取り上げられてしまえば、後は有無を言わず政府が沖縄で国策を展開していくことになってしまう」と反対せざるを得ないものだ。

自衛隊大型輸送機タイ派兵!

七月十二日、橋本はカンボジアの内戦にかこつけて、邦人救出を名目に自衛隊の大型輸送機C-130をタイのウタパオ基地に強引に派兵した。自衛隊の海外派兵は完全な違法行為だ。こんなことが、橋本と防衛庁の判断ひとつで、国会にも閣議にもはかられずにドシドシ強行されているのだ。

しかも、すでにほとんどの日本人旅行者は出国を終えており、プノンペン空港では民間機の運航が再開されているなかでの自衛隊派兵であった。新ガイドラインのもとに、在外邦人救出と称して、自衛隊が自由自在に海外派兵されようとしている。

9.23
全力で
結集を